



未来を創る、こどもたち。
未来を育てる、わたしたち。
～未来への責任～

埼玉県学力向上研究校指定事業・市学力向上研究

研究紀要

令和2・3年度
埼玉県教育委員会委嘱
本庄市教育委員会委嘱
研究発表会

研究主題

自らの学びを実感し、ともに学び合う児童の育成

Fostering children who feel learning and can learn together.

～教師主体の授業から児童主体の授業への転換・ICTの活用～

Converting teacher-based classes into child-based classes · Creating of classes using ICT



令和3年11月10日(水)
本庄市立本庄東小学校



本庄市
はにほん

研究主題 自らの学びを実感し、ともに学び合う児童の育成
 ～ 教師主体の授業から児童主体の授業への転換・ICTの活用 ～

学校教育目標 「 明るく健康な子 進んで学習する子 仲よく協力する子 」

◆ 目指す児童像 ◆
 ◎授業の中で自分の考えを伝え、相手の考えを聞き、話し合い、学び合うことで、自分の考えを広げたり、深めたりできる児童。
 ◎よりよい人間関係を築き、見通しをもって授業に主体的に取り組み、学び合う授業を通して、学習の楽しさや学習への意欲、学びの実感を得られる児童。
 ◎発達段階に応じた、ICTの活用ができ、自分の学びや生活に生かせる児童。

◆研究の方針

方針①
 「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえ、学び合いの活動や対話の中で自己の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

方針②
 学習の見通しを明確にし「振り返り」を積み重ねることで、学ぶ意欲や学びの実感・成長の実感が体得でき自己肯定感が高まるようにする。

◆手だて

◆単元を見通して、授業進行の目的と形式を明確に分ける。
 ・ベーシック授業(基礎基本の定着を主眼に置く)
 ・チャレンジ授業(学び合いを主眼に置く)

◆本庄型授業スタンダードの深化
 ・問題と課題提示の関係 ・課題から見通し
 ・学び合いとまとめ ・ファシリテーション
 ・自己を見つめる振り返り

◆校内研究推進部会

◆学力調査・意識調査を分析・考察し、授業改善に生かす。

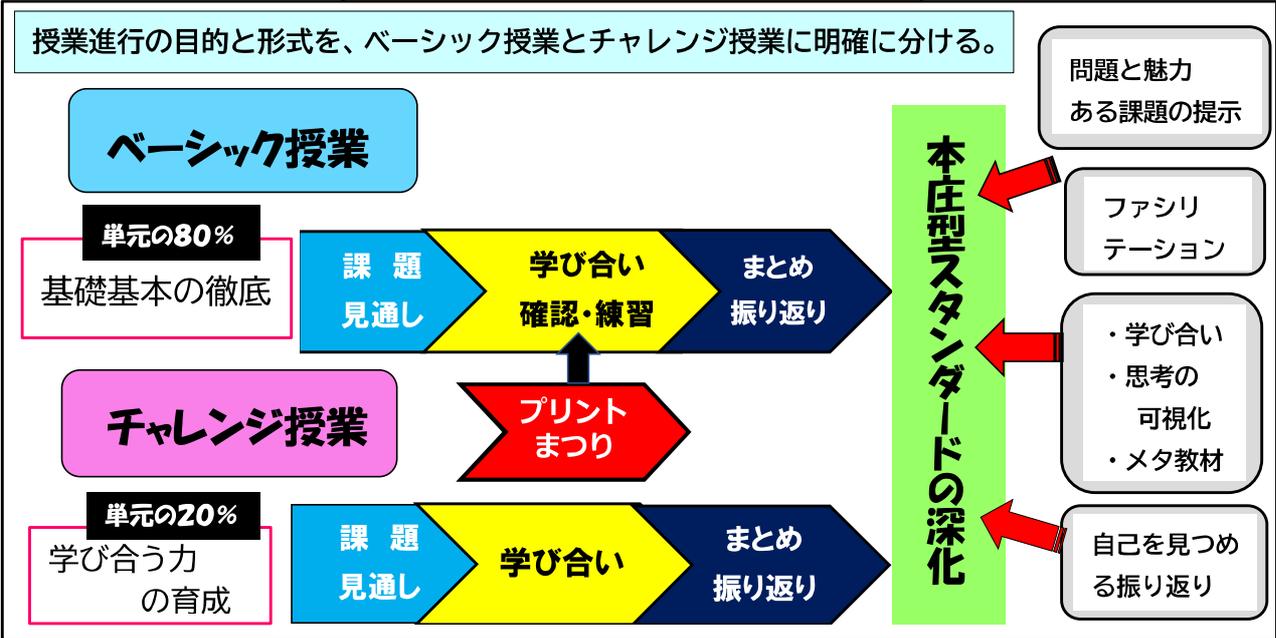
「授業改善部」
 ・ベーシック(習得習熟)とチャレンジ(学び合い)の授業マネジメント
 ・ベーシック・チャレンジ授業の単元配置計画
 ・本庄型授業スタンダードの深化
 ・思考の可視化の効果的な技法の提言

「学び研究部」
 ・「振り返り」の収集、分析・考察
 ・効果のあった学習場面や学びの事例収集、保存
 ・効果的な習得習熟の研究
 ・学びへの教員の関わり方(ファシリテーション)

「学力調査部」
 ・学力調査・意識調査の分析・考察
 ・コバトンのびのびシートの活用
 ・自校で必要とされる独自調査(東っ子のびのびアンケート)の実施、分析・考察
 ・「学力向上だより」の発行
 ・ホームページの作成

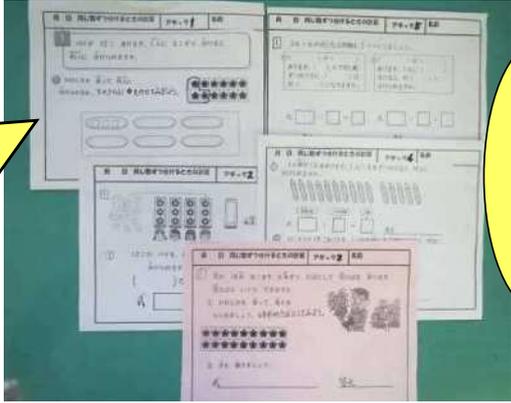
・学級づくり(特別活動の充実・道徳教育の実践)
 ・hyper-QUの活用 ・ICTの活用 ・地域や保護者の願い

研究推進の主な手だて



「プリントまつり」と題した練習・評価

- ① プリントまつりは各自のペースで取り組み習得習熟を図る。
- ② 「アタック問題1～5」は、段階を考えた教師作成の問題。
- ③ 色付き評価問題のみ教師が採点。
- ④ 教師は必ず補助簿をつけ見取る。



3年「わり算」

授業評価補助簿

本庄東小 授業評価補助簿												
単元名	月	日	月	日								
第○時	ベ	チャ	ベ	チャ								
P ページ	P											
番号	名前	アタック③	アタック⑤	アタック③								
1	本庄 太郎	○										
2	本庄 花子	⊗										
3	台町 次郎	○										
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												

*評価問題ができれば○、できない×。
 時間内に学び直しができたら、×のうえに○をつける。
 *評価問題が×の児童は、学び直しの個別指導をする。
 また、課題のある児童は、補助簿を付けながら机間指導を行い、時間内に定着できるように配慮する。

アタック問題数が5問。③は評価問題。

アタック問題5問全部できたら、✓をつける。

ベーシック授業 (ベ)
 チャレンジ授業 (チャ)

授業改善部

◆本庄東小算数におけるベーシックとチャレンジ授業の紹介◆

本庄東小算数スタイルベーシック授業編

ベーシックは知識・技能を伸ばす！

30分

① 問題提示 適やかに提示する。

② 課題提示 児童が読みやすいよう読出し、それを基に提示する。

③ 見通し 「どうしたら」「何を言えば」「どうなりそうか」を問う。理由も問う。
「こうしたらできそう」「これを言えばできそう」といったポイントを見出すなど、ある程度焦点を絞って、学び合いに取り掛かる。

④ 学び合い 話し合う内容を明確にする。

【学び合いの手段】 ①ペア学習 ②児童1人対教師の振り返し

学習意欲を伸ばす

全体で振り返らなければ、この意味「学び合い」！

⑤ まとめ 課題に対する答えとなる内容にする。児童から引き出す。

⑥ 習熟習得の時間 「プリントまつり」の実施

○4～5枚中のプリントの内1枚を色別の評価問題にする。(教師が採点)
 ○プリントの問題は、教科書のものでよい。数値をやりかたに変えないこと。

12分

プリントまつり

3分

⑦ 振り返り

ノートやワークシートが評価

本庄東小算数スタイルチャレンジ授業

チャレンジは思考力・表現力を伸ばす！

5分

① 問題提示 既習を応用できる興味深い問題を工夫する。

② 課題提示 教師側から提示してもかまわない。

③ 見通し 「既習事項でできそうか」「簡単に早くできないか」等を問う。
いろいろな考え方を導き出すために、あまり焦点を絞らずに学び合いに取り掛かる。

32分

④ 学び合い

第一段階

グループ

1人

ペア

広める

全体

第二段階

比較・検討・整理等

深める

学習意欲を伸ばす

話し・聞き
互いの良さ
統合
よりよい考え
まとめる

学び合い

8分

⑤ まとめ 正解を導き出したポイントを書く。例：既習の○○を言えば～

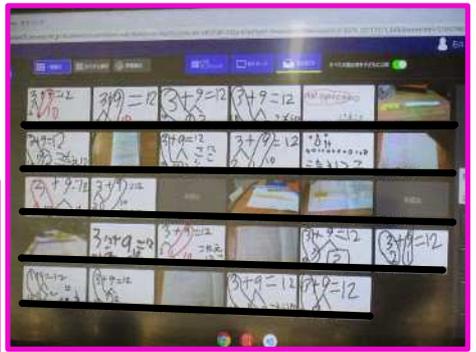
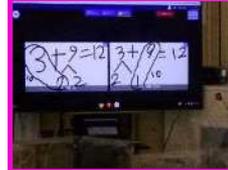
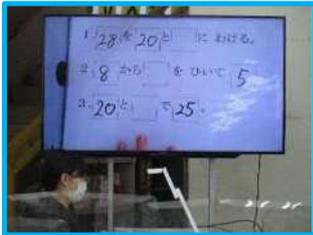
⑥ 確認問題 (必要に応じて) 教科書問題を使って、少し工夫しても可

⑦ 振り返り

振り返り

ノートやワークシートが評価

◆ICTの活用◆



友だちの考えを全体で共有しやすくする。

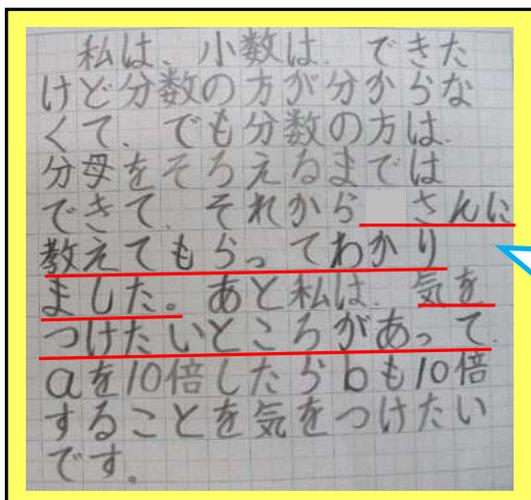
「プリントまつり」の問題を電子化する。

ミライシードのオクリンクで考えを送り、全体で比較し共有する。

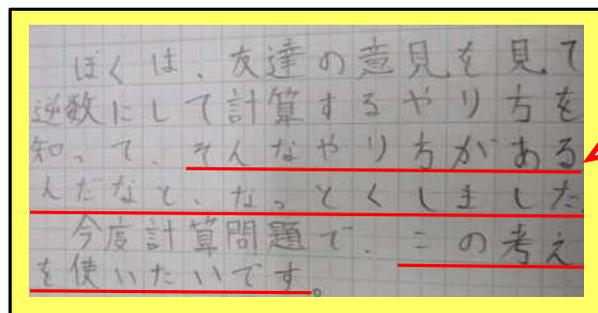
- ＜成果 (○) と課題 (●)＞
- 算数の授業形態を明確にしたことにより、児童の学習意欲が高まった。
 - 教師の授業分析やリフレクションシートの活用を通し、全職員が質の高い授業に取り組めるようになってきている。
 - より良い授業改善のため、ベーシック・チャレンジ授業の単元配列計画の継続的見直しをする。

学び研究部

① 振り返りの分析



- 児童自身の学びの振り返り
 - ・主語は、「私は～。」
 - ・1時間の授業の分析 (知識・理解)
- ともに学び合う姿
 - ・学習意欲の向上や新たな考え方の発見 (気づき)
- 児童自身が学びの成果を実感する姿
 - ・児童主体の学び、学びの自覚化
- 教師自身の授業の振り返りとして活用
 - ・教師のファシリテート



- 児童自身が問い (どうして?) をもち、ともに学び合うことで、多様な考え方に触れ、その中で気づき、納得していき様々な場面で活用しようとする姿
 - ・自らの学びを実感、学ぶ喜び

② 教師のファシリテーション



- 授業記録シートや授業動画の活用
 - ◆本時の学び合いの意図やいきいきとした授業展開
 - ➡ 課題解決するための対話的な学び
 - ◆教師と児童のやりとり (タイミング・量・待つこと)
 - ➡ 児童主体の学びになるための発話の工夫
 - ◆教室やグループの雰囲気
 - (つぶやき・表情・姿勢・動き)
 - ➡ 児童の思考が継続するための教師の声がけ
 - 短い言葉でテンポよく児童の考えを繋ぐ
 - (なぜ? どうやった? あとは? つまり?)

<成果 (○) と課題 (●)>

- 振り返りの積み重ねによって、書く量や質の向上が図られ、主体的な学びの姿が見られるようになった。
- 授業記録や授業動画を分析することで、教師の授業力向上が図れた。
- 児童の学びを充実させるため、授業のタイムマネジメントの向上をより一層図る。

学力調査部

① 埼玉県学力・学習状況調査の分析

[R2]

[R3]

算数		平均正答率 (県正答率を100としたときの値)	レベル (昨年度からの学力の伸びの平均)	伸びた児童の割合	算数		平均正答率 (県正答率を100としたときの値)	レベル (昨年度からの学力の伸びの平均)	伸びた児童の割合
6年	埼玉県	85.6	6-A (+1)	61.1	6年	埼玉県	95.6	6-A (+3)	81.1
	本庄東小		6-C (+1)	61.8		本庄東小		6-C (+3)	80.2
5年	埼玉県	94.0	6-C (+2)	65.3	5年	埼玉県	99.4	6-B (+3)	81.5
	本庄市東小		5-B (+3)	70.9		本庄市東小		6-C (+4)	86.5
4年	埼玉県	91.3	5-B		4年	埼玉県	105.7	5-A	
	本庄市東小		4-A			本庄市東小		5-A	

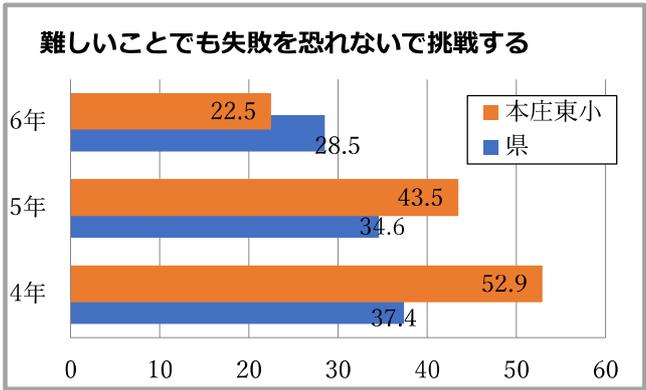
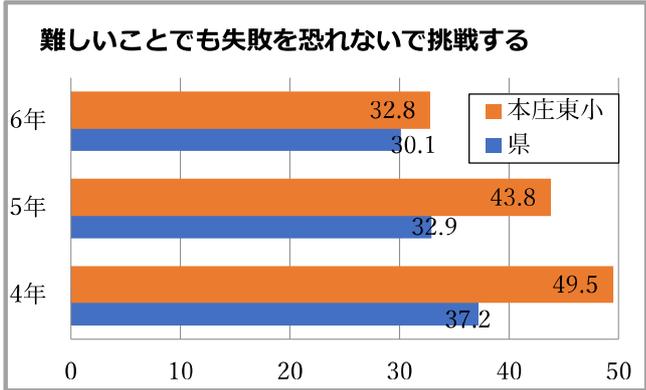
5・6年は平均正答率が伸びて、県平均比100に近づき、4年は県の平均正答率を超えている。 学力レベルや、伸びた児童の割合も上がってきている。



② 児童の学びに対する意欲の状況

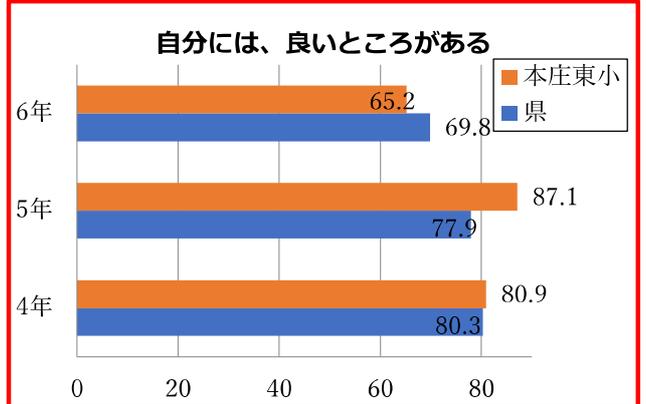
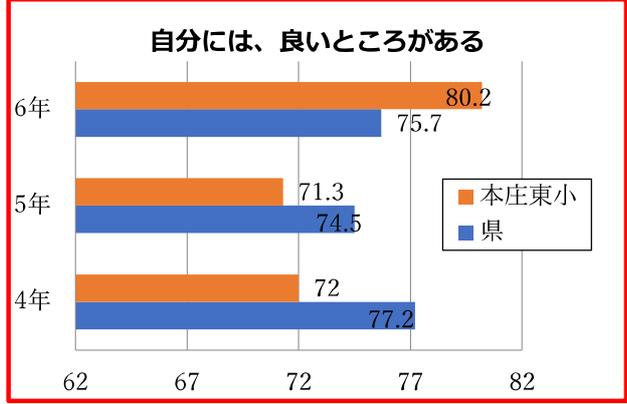
[R2]

[R3]



[R2]

[R3]



・困難な状況の中でも挑戦する前向きさ、失敗を恐れない意欲の高さがある。
 ・学年差はあるが、自分に自信がもてる児童が多くなってきている。

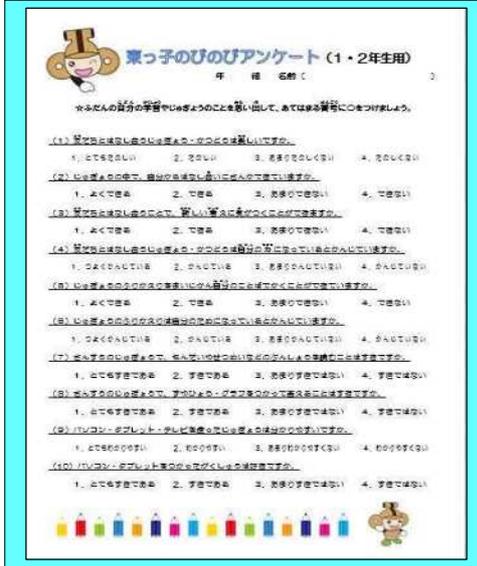


③児童アンケート実施や保護者への発信

児童の学びへの意識の変容を見るため、2年間同じ項目でのびのびアンケートを実施しました。

①【東っ子のびのびアンケート】

【顕著に伸びた項目】



- 学び合う授業・活動は楽しいですか。
- 学び合う授業・活動は自分の力になっていると感じますか。
- 授業中の振り返りは自分の力になっていると感じますか。
- パソコン・タブレットを使った学習は好きですか。



②【「学力向上だより」の発行・ホームページ】

子どもたちの学びの姿 学力向上だより

東っ子のびのび通信

学校教育目標：明るく健康な子・通って学習する子・仲よく協力する子

本気になれ！やればできる！

本庄市立本庄東小学校 学力向上だより NO.1
発行日：2023年3月27日（金）学力調査前

＜はじめに＞

本庄東小学校では、令和2・3年度に埼玉教育開発協会・本市教育委員会との協力を得て、「学力向上研究推進校」として、子供たちの学力向上に向け、学校研究を推進してまいります。随学随習実践では、自らの実態を踏まえた学習の場づくり、「社会の進化に即応できる」が、その先駆けとなる「変化を創り出すことのできる学校」の構築を目指してまいります。本校では、この研究を通して、子供たちへの授業の改善や実践の二つを目的として、本研究会の活動目標である「主体的・対話的で深い学び」のさらなる実践を推進して、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の育成を図り、自らの力で未来を創っていく『学力』を育ててまいります。

全国の実践では、昨年よりさらに学びの場づくり（『算数科』や『ベーシック授業』『チャレンジ授業』）について紹介いたします。本研究会の活動を通して、本校内で各自の授業に活用して実践し、「子供たちの学びと学びの場づくり」を推進してまいります。今後、子供たち一人一人の成長に向け、学力の向上に取り組んでまいります。どうぞ、ご期待とご協力をお願いします。

＜東っ子のびのびアンケート結果より＞

パソコン・タブレット・テレビを使った授業はわかりやすいですか？

あまりわかりやすい	2%	わかりやすい	25%
まあまあわかりやすい	17%	あまりわかりやすい	73%

パソコン・タブレットを使った授業は好きですか？

あまり好きではない	5%	好きではない	13%
好きである	33%	とても好きである	50%

児童にアンケートを実施しました。その中でも、パソコンやタブレット、大型テレビを活用した授業が分かりやすいと回答した児童が多く見られました。これらの機器を活用しての学習は、児童によって意欲が高まり分かりやすいことがわかりました。今後継続してICTを活用した教育活動を充実させていきたいと考えています。

児童アンケート

＜算数での取組～「ベーシック授業」と「チャレンジ授業」～＞

算数では、一つの単元を、ベーシック（基礎・習熟を中心）とチャレンジ（学び合いを中心）に分けて単元計画をデザインして取り組んでいます。

【ベーシック授業】・・・知識・技能の習得・習熟を促すとした授業です。子供たちが課題を引出し、見直しを促す。全体での交流やペア学習を通して学び合い、学習を定めていきます。さらに、「プリント祭り」と呼ばれる、学んだ知識を定着・習熟させるための特設問題により学び合いを促します。

【チャレンジ授業】・・・学んだことを活かし、応用的な問題に取り組みることさらに思考力・表現力を伸ばすことを促すとした授業です。ペアやグループでの学び合いを通して、子どもたちが自主的な発表を促し出し、課題解決に向けて協力し合うことでより深い学びにつながります。

本庄東小算数スタイル ベーシック授業

問題との出会い → 課題の発見 → 見直しをもつ → 学び合い → まとめ

この単元の性質は？ → 計算できないかな？ → 自分たちの言葉から問題を → 学んだ知識を定着・習熟 → 振り返り

本庄東小算数スタイル チャレンジ授業

問題との出会い → 課題の発見 → 見直しをもつ → 学び合い → まとめ

この単元の性質は？ → 初めに見る問題。興味深い問題。 → 学んだ知識を定着・習熟 → 振り返り

ベーシック授業、チャレンジ授業の説明

＜成果（○）と課題（●）＞

- 本庄型授業スタンダードやベーシック授業・チャレンジ授業などを全職員が意識して取り組んだことで、児童の学力の伸びが見られた。
- 学んだことを表現・活用する力や、自己肯定感をさらに高めるために児童主体の授業づくりに努めていく。

朝の補充学習

◆評価問題ができなかった児童には、朝の学習の時間を活用して、もう一度指導を行い、全員が評価問題をできるようにする。



コバトンのびのびシートの活用



◆コバトンのびのびシートを活用して、事例研修を行い、児童にあった指導支援の方法を考え、実践した。

御指導いただいた指導者の皆様

大変ありがとうございました 

本庄市学力向上アドバイザー・元文教大学教授
埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事
埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事
埼玉県教育局北部教育事務所

教育支援担当・学力向上推進担当主席指導主事
埼玉県教育局北部教育事務所学力向上推進担当指導主事
埼玉県教育局北部教育事務所学力向上推進担当指導主事
本庄市教育委員会教育長
本庄市教育委員会学校教育課指導主事兼課長
本庄市教育委員会学校教育課指導主事
元本庄市教育委員会学校教育課指導主事兼課長

嶋野 道弘 様
大澤 正樹 様
松本 信寿 様

諏訪 慎一 様
矢島 弘一 様
中田 朋絵 様
勝山 勉 様
岡芹 純一 様
栗原 完 様
櫻井 友晴 様
黒崎 暢徳 様

おわりに

本校は、令和2・3年度に渡り埼玉県教育委員会：学力向上研究校指定事業及び、本庄市教育委員会：学力向上研究の委嘱をいただき、「白らの学びを実感し、ともに学び合う児童の育成」を研究主題に取り組んでまいりました。

本研究を通じて、教職員一人一人が「教師主体の授業から児童主体の授業」に向けた授業改善を図り、授業実践を積み重ね研究を推進してまいりました。それによって、児童自らも「本庄型授業スタンダード」に即した学習活動を行う中で、学び合いを中心に学習し、白らの成長を実感できる姿が育ってきたように感じています。本校教職員にとって大きな励みとなるとともに、本校の貴重な財産となるものでした。今後も本研究を活かし、学力向上に努め、未来を拓く児童の育成に努めてまいります。

結びに、本研究を推進するにあたり、本庄市学力向上アドバイザー・元文教大学教授：嶋野道弘様をはじめ、埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課の皆様、埼玉県教育局北部教育事務所の皆様や本庄市教育委員会の皆様から親切丁寧な御指導を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。



本気になれ！やればできる！



本庄市立本庄東小学校



〒 3 6 7 - 0 0 2 2

埼玉県本庄市日の出1丁目2番1号

電話：0495-21-3051

FAX：0495-23-3300



<http://edu-honjo.com/higashisyo/html/htdocs/>